

X線分光学による 物質科学へのアプローチ

日時: 2011年12月2日(金) - 3日(土)

会場: 京都大学・化学研究所・宇治おうばくプラザ・セミナー室4&5

プログラム

2011年12月2日(金)

《異常原子価を含むペロブスカイト関連酸化物の物性》

13:00-13:30 「ペロブスカイトBiNiO₃の圧力誘起サイト間電荷移動と巨大負の熱膨張」 東 正樹 (東工大応セ)

13:30-14:00 「BiNiO₃におけるMI転移について エントロピーの観点から」 綿貫 徹 (JAEA量子ビーム)

14:00-14:30 「Charge transfer and charge disproportionation behaviors of the A-site ordered double perovskite solid solution Ca_{1-x}La_xCu₃Fe₄O₁₂ (0<x<1)」 Wei tin Chen (京大化研)

《分光學でみた異常原子価を含むペロブスカイト関連酸化物》

14:45-15:15 「Aサイト秩序型ペロブスカイト酸化物における元素選択的モット転移」 岡田 耕三 (岡大理)

15:15-15:45 「Fe系ペロブスカイトの高圧下メスバウアー分光」 川上 隆輝 (日大理工)

15:45-16:15 「電子分光を用いたCo酸化物の磁性状態研究」 齋藤 智彦 (東理大理)

《希土類物質》

16:30-17:00 「充填スクッテルダイトにおける電子・格子相互作用」 筒井 智嗣 (JASRI)

17:00-17:30 「充填スクッテルダイトにおける磁場の影響を受けない重い電子状態」 青木 勇二 (首都大)

2011年12月3日(土)

9:05- 9:35 「クラスレートEu₈Ga₁₆Ge₃₀の特異な強磁性に対するSi置換とキャリア制御の効果」 鬼丸 孝博 (広島大)

9:35-10:05 「高い水素圧力が誘起するEuH_xの価数と磁性及び結晶構造の変化」 松岡 岳洋 (阪大極限)

《トポロジカル絶縁体》

10:15-10:45 「スピン軌道相互作用:ラシュバ効果とトポロジカル絶縁体」 小口 多美夫 (阪大産科)

10:45-11:15 「放射光ARPESおよびSTMでとらえる3次元トポロジカル絶縁体のDirac Fermion」 木村 昭夫 (広島大)

《ナノ物質》

11:15-11:45 「ナノ金属の水素吸蔵」 小林 浩和 (京大)

11:45-12:15 「無機ナノ粒子の構造変態と物性」 寺西 利治 (京大化研)

磁性分光研究会とは:

磁性分光研究会は磁性研究とX線分光をキーワードに、SPring-8を中心に実験を行う研究者と理論計算を行う研究者が情報交換・研究協力を促進するため定期的に開催している研究会です。主なテーマは、(1) 磁気円二色性、線二色性に関する吸収過程およびそれに伴う二次光学過程の研究、(2) 極限環境(強磁場、高圧、極低温等)および特殊環境下での相転移現象等の研究、(3) 新磁性物質の開発および新磁性現象の研究、(4) 磁気分光に関連した新手法・新技術の開発、です。

どなた様もお気軽にご来場下さい。

主催: 京都大学化学研究所 共同利用・共同研究拠点プロジェクト

共催: SPring-8利用者懇談会・磁性分光研究会、CREST「元素戦略を基軸とする物質・材料の革新的機能の創出」研究領域「異常原子価および特異配位構造を有する新物質の探索と新機能の探求」

問い合わせ先: mizumaki@spring8.or.jp (水牧仁一郎), shimak@scl.kyoto-u.ac.jp (島川祐一)